

平成23年度
実施事業

事務事業名 札幌のぼりべつ交流プラザ

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	1	新たな事業展開の促進
主要な施策	3	販路開拓への支援
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し、札幌圏との経済交流を深めることにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	札幌のぼりべつ会と市内企業との交流の場として、札幌のぼりべつ交流プラザを開催した。 【事業実績】 ・開催日 平成23年9月18日(日) ・場 所 登別万世閣 ・内 容 講演「登別の温泉・森林海洋資源と健康保養地」、交流会 ・参加者 札幌のぼりべつ会：10名、登別：27名 東京登別げんきかい：19名(ふるさとツアーにより参加)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	情報交換や相互交流等によって、人脈の形成が図られ、地場産品等の販路拡大や市内経済の活性化への波及効果が期待されることから事業を継続する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	71	35	71	71	71
事業費合計			71	35	71	71	71

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	交流プラザにおける情報交換 テーマ設定件数	件	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	1	1			
	交流プラザ参加者数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	33	56			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<ul style="list-style-type: none"> ・登別市内企業の参加が減少している。特に札幌開催の場合は、より顕著である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業側が参加しやすい日程を設定する。 ・企業が参加するメリットを見出せる内容とする。 	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 市内企業と札幌圏との経済交流が目的であることから、登別商工会議所等が主体となり、実施することも可能である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 地域経済の振興を図るため、札幌のほりべつ会の人脈を生かし、大消費地である札幌圏の企業や経済界とつながりを持つ必要がある。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 少労力とは言い難い部分はあるものの、比較的費用対効果の高い事業である。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 市内事業者等と札幌のほりべつ会の会員の人脈づくりが促進され、販路拡大等への足がかりとなっているが、数値等により成果を把握することは難しい。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	情報交換会・交流会等において、相互交流が図られている。今後も、交流による人脈形成が図られことにより、地場産品等の販路拡大や市内経済の活性化に波及することが期待される。
-----------	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----